

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
4	弘田隆彦	詳説日本史（山川出版社） 史料日本史（東京法令出版） 新詳日本史（浜島書店） 日本史総合テスト（山川出版社）
必修 学校必修 ○必修選択 自由選択		

#### ◆学習の目標

- ・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解させる。
- ・歴史的思考力を育て、歴史に起因する今日の問題に対し主体的に考えることの出来る日本人としての資質を養う。

#### ◆主な学習内容・方法

- (1)教科書 第1章～第8章（「日本文化のあけぼの」～「幕藩体制の動揺」）
- (2)教科書を中心教材とし、補助教材や補助プリント等を活用し、主として講義形式で学習する。
- (3)必要に応じて、ビデオ・DVDなどの教材も使用する。

#### ◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕
- ・前近代史の基本的歴史事象（教科書ゴシック文字に関連する知識）に関する知識を定着させ、歴史的諸事象を正確に理解する。
- 〔応用〕
- ・さまざまな歴史的諸事象の因果関係を資史料をもとに多面的・多角的に考察し、考察したことを適切な文章で表現できる力を養う。
- 〔評価の観点〕
- ・「知識・理解」「資（史）料活用力・的確で簡潔な表現力」「思考力・判断力」を評価する。

#### ◆評価の方法

主に定期考査（論述・正誤問題は必出）によって評価し、学力テストや平常の授業への取り組みを加味して、総合的に評価する。

#### ◆年間予定授業時間

予定時数	140時間	1学期（52時間）	2学期（56時間）	3学期（32時間）
------	-------	-----------	-----------	-----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習の段階では、教科書をよく読み大筋の流れを理解しておく。
- 復習では、授業プリントを参考にして内容を整理し、教科書を精読しながら理解を深め重要語句や人物名を覚える。また、大学入試の論述問題などを利用し表現する力を身に付ける。
- ・単元の終了時、考査前には、問題練習を行い、理解度を把握する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	第1部 原始・古代 第1章 日本文化の あけぼの	1 0	・文化のはじまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の原始社会の始まりを、考古学的な物証と共に説明できる。</li> <li>・律令国家の構造について制度的な面や、その変質・崩壊の過程を説明できる。</li> <li>・荘園制の展開と主従的な関係の進展により、中世社会が始まることを説明できる。</li> </ul>
	5	第2章 律令国家の 形成	1 4	・飛鳥の朝廷	
	6			・律令国家の成立	
	7	第3章 貴族政治と 国風文化	1 2	・平城京の時代	
2 学期		第2部 中世 第4章 中世社会の 成立	1 6	・平安朝廷の形成	
	8	第5章 武家社会の 成長	1 6	・摂関政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉幕府の成立</li> <li>・武士の社会</li> <li>・蒙古襲来と幕府の衰退</li> </ul>
	9			・荘園と武士	
	10			・院政と平氏の台頭	
	11	第6章 幕藩体制の確立	1 6	・室町幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府の衰退と庶民の台頭</li> <li>・戦国大名の登場</li> <li>・室町幕府の衰退の過程を把握するとともに、戦国大名の分国支配の特質について説明できる。</li> <li>・戦国時代から統一権力の誕生の過程や江戸幕府の特質を説明できる。</li> <li>・幕藩体制の崩壊の過程を欧米列強の動向を踏まえて説明できる。</li> </ul>
		第7章 幕藩体制の展開	1 4	・織豊政権	
	12	第8章 幕藩体制の動揺	1 0	・幕藩体制の成立	
3 学期	1	入試対策講座	3 2	・問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試に備え、過去の入試問題の演習を通して、知識の整理と簡潔で論理的に論述する力を一層高める。</li> </ul>
	2				
	3				